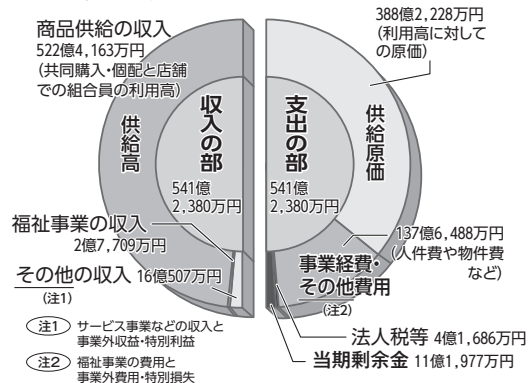


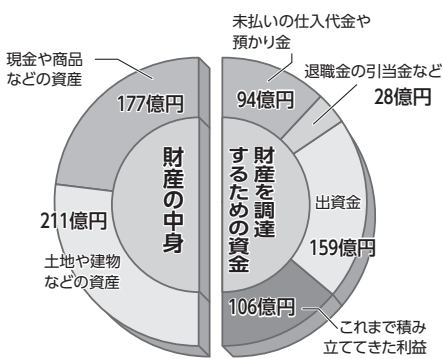
2014年度 事業の結果

2013年3月21日～2014年3月20日までの
1年間の収支状況



万円未満の端数を切り捨てています。

2014年3月20日現在の
パルコープの財産 389億円



億円未満の端数を切り捨てていますので、
左右の合計は一致しません。

総代会アピール

私たちの生活協同組合おおさかパルコープは、組合員が願う食の安全とよりよい暮らしをめざし、その実現のために、組合員と職員、生産者・メーカーが共に歩んできた組織です。よりよい暮らしを求める私たちにとって、消費税・TPP・地球温暖化・集団的自衛権・秘密保護法など、暮らしを取り巻く社会状況はより一層厳しくなっています。未来の子ども達に平和でよりよい社会を手渡す事が願いです。

また、福島原発事故の解決もできないまま、原発の再稼働や原発輸出も視野にいたしたエネルギー計画が進められようとしています。私たちは、稼働による危険性を将来世代にツケを残すエネルギー政策には反対です。

被災地の復興よりも都市部の経済が優先され、被災者の生活への不安はまだ続いています。今年も引き続き被災地に寄り添い被災者を忘れない活動をつづけましょう。

マスコミだけの情報に惑わされることなく、私たちはこれまで以上に、多くの人と語り合いながら、学びあい・助け合い支えあいの輪を広げ、生協の原点である、知り知らせる活動を大切にしましょう。

2014年6月6日
生活協同組合おおさかパルコープ通常総代会

視覚障がい者の願い 〜開ける前に中身を知りたい〜

ボランティア
アチームでは
バーコードを
携帯電話の力
メラで読み取
り商品の中身を知れるソフトの普及を進めています。視覚障がいの方が位置がわかるよう、バーコードにエンボス加工を施したり、カメラレンズの距離を保つ「読み取り台」で解決。読み取り台を考案製作した夫が11月に亡くなり、子どもの頃の呼び名「らくらくピデ坊」と仲間が名づけてくれました。

私達にも活動拠点を!!

私達の西区
では組合員会
館も店舗もな
いため区民セ
ンターを借り
て活動。制約も多く、大きな取り組みは数カ月前から予約、試食も書類を提出、調理方法にも限界が。活動拠点があれば時間も有効に使い、委員以外の組合員も広場・グループ・講座など色々な形で集え地域の方々にも広くアピールできます。近くの地域と一緒に使える場所を考えてください。

東北ボランティアバスに 参加して

ボランティアバスに
参加して
世間では震
災の事が忘れ
られようとし
ています。で
も被災された
方々にとっては「まだ3年」。ボランティアでは、どれだけ役立っているのかなと思つてありますが「微力であっても無力ではない」という言葉を支えに活動しています。「遠い所からご苦勞様です」と笑顔で声をかけられた事も。また機会があれば参加し、現状をまわりの人に伝えていきたい。

核兵器のない世界をめざして、 今 私たちができること

核兵器のない世界をめざして、1970年からNP T(核不拡散条約)の加盟国は、5年ごとに再検討会議を開催。来年2015年はその年ですが、世界の核兵器はまだ1万7270発も存在しています。私たちにできること「核兵器禁止条約の早期実現を求めよう」への署名をあつめて国連に。そして7月4日の、私たちのピースリレーにも参加しましょう。

買い物難民を助けてください

私が住んで
いる平野区瓜
破地域では、
徒歩圏内にス
ーパーがあり
ません。一番近くでも自転車です15分くらい。コンビニでは全て揃えられず、シルバーカーを押すような年輩の方にとっても苦勞されています。買い物難民を救ってください。南大阪地域にも店舗が欲しいです。欲しい時に欲しいものが、買いたれたパルコープの商品が購入できる日がくればうれしいです。

聞いてください!! 私の意見

加入から約
30年、生協商
品が子ども達
を育て市販物
との違いを教
えてくれました。組合員の声に耳を傾け受けとめるパルコープに甘えるのではなく、私たちは賢く、姿勢の良いワレマーでありたい。学習を重ね情報を知り、知恵を出し合い、母親力と女力で向かおう。小さな一歩を皆で踏み出し胸を張って「わたいらなにわの、おおさかパルコープやで」と言おう。

発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

文書発言を含めて44件の発言がありました。具体的な改善要望については、その真意に配慮されるよう、今年の事業の中で努めてまいります。生活の変化に対応した事業への期待、組合員活動の広がりへの期待に応えられるよう、堅実な財務、組合員さんの声に誠実に応える職員集団、自由闊達な組合員活動を築き、先輩から引き継いだ庶民のパルコープを未来につないでいきます。

商品事業について

店舗出店は採算が存続の条件となります。地域の組合員さんに愛されて足しげく通っていたらいいの、星ヶ丘店、東都島店の生鮮を中心とした小さな売り場で実現し、新店の可能性を追求していきます。大阪市南部を中心に新店の適切な立地を今探しています。

移動店舗についてはどういう条件なら成り立つのか研究してまいります。共同購入や生活サポート(夕食サポート)は生活に不可欠の声をいただきませんが、幹旋や紹介など相談にのるようになさっていただきたいと思っています。

共同購入の班の良さや大切さ、個配を対面で受け取ることに、感謝の声をいただきました。班のメリットはコミュニティ・交流の場で、班があること自体が大事です。層間に受け取りがなくなる班には夜間に配達など、引きつづき班の存続に努めます。個配については、不在置きができない住環境や対面受け取りの希望に、夜間配達を拡大し、あわせて担当者からの声かけなど、安心して利用していただけるよう徹底していきたいと思ひます。職員教育については喜ばれた事例を評価し交流し、担当者同士が学びあい工夫して、仕事を楽しくするチーム運営をめざします。

委員会活動、総代懇談会、地域別総代会について

組合員活動で産地交流の参加者にアンケートを取りパル委員さんを増やしている事例や、地域で学習を重ねて広げている事例をいただきました。女性の有職率が過去最高になり忙しさを増す中でも、自分たちの関心ことからみんなどおおいに話し合い学びあういきいきとした活動が魅力となり、人をひきつけます。そのことを7月より改善される「ぱるタイム」とホームページで発信し、広げていきます。

組合員施設の要望は、新事業所での併設など検討してまいります。総代さんも仕事、介護など、忙しい中で総代懇談会や地域別総代会に参加していただいています。参加して良かったと言っていたように、事業全般や重要な課題の改善の方策について、総代の皆さんが発言し話し合えるように報告や運営の改善をしていきます。

核兵器廃絶、平和、環境、福祉、子育て、被災地支援、 様々な組合員活動、グループの活動について

組合員さんの自主自立の活動が多様に広がっています。子育て支援では、「子育て広場」など組合員やついのとりくみとあわせて、事業でも9月以降に、「子育てサポート」利用組合員さんから会員を募り情報提供を始めます。平和、環境、福祉、被災地支援など、自分のこととして、参加し学び行動する組合員さんを学習、広報、ボランティアバスなどで支援をしていきます。組合員さんのますますの利用で支えられた事業活動の利益で、組合員さんの活動やボランティア活動などの非営利の活動を保障していきます。